

20 年たって見えてきた ベイタウンの「良いところ」、「悪いところ」

先月号でご紹介した、ベイタウン協議会景観委員会主催の「ベイタウンまち歩き」。前回は、どんな企画だったかを中心にお伝えしましたが、今回は、その成果として、参加者がグループに分かれて街歩きをした結果として気付かれた、ベイタウンの良い点・悪い点をご紹介します（順不同、重複を除く。また、あくまで、参加者主観の意見です）。【板東】

管理が悪く劣化する公共部分



道路・歩道・ボラード・街灯の補修が不揃い、景観への配慮不足）道路・歩道には東日本大震災での破損を簡易に行ったまま放置されている部分が多くある。このままでは良好な部分も劣化が早くなる。

街並みの景観が良い

プロムナードに見る歩道・車道・建物のバランス。高さやボリューム感が統一されていて、建物間の色と組み合わせが良い。店舗と建物がうまく溶け合い、電柱がなく街路と歩道とのバランスが良い。



目に余る路上駐車



ベイタウン内の道路は、賑わい創造のため駐停車禁止とされていないが、こんな姿が望まれた訳ではないことは明らか。街歩き参加者からは、タワーパーキングの街区、賃貸の街区周辺で路上駐車が目立つという指摘があった

写真で紹介した他に今回の街歩きでは次の様な良いところ、悪いところが参加者から出されていました。

【良いところ】

シーサイドデッキからの見晴らしがすばらしい／パニエ前のスタンブ舗装は良かった／バレンタイン通りの街路空間が良い／バレンタイン通りの歩道は広くて良い／樹木が立派に育っている／公園の緑がきれい／各街区の中庭がおしゃれ、きれい／道路面の種類が豊富／のぼりやステッカーなどが少ない、広告が小さい・統一されている／デザインが呼応しているポイントがいくつもあって良い／公園・芝生が多く、子どもたちの遊ぶスペースがある

【悪いところ】

海岸（幕張海浜公園）で水遊びができない／海浜公園が休日なのに人がまばら／シーサイドデッキを渡って海辺に直接行けない／シーサイドデッキの利用者が少ない／店舗の看板・ポスター等に統一感がなく、安っぽい／バレンタイン通りの人通りが少ない／商店に塾・予備校が多い／公園周辺のゴミが目立つ／マリンデッキを自転車に乗ったまま走行



良いところとして多くの評価を集めたセントラルパーク内の「ヤキ並木」。この並木はセントラルパーク私有地のため管理組合が長期にわたってよく管理した結果価値を高めている。ベイタウン全体の共有部分（道路、公園など）も長期間適切に管理できれば後の世代に大きな価値を残せる。

休息スペース



プロムナードで見つけた歩道脇の腰掛け（？）ベイタウンではプロムナードに限らず、あちこちにこんなちょっとした休息スペースがある。

補修が安直



身体障害者用ブロックの補修。歩道のインターロッキングは至る所でコンクリートを使って補修されている。身体障害者用ブロックの部分は色づけて済ませられていた。

排気口の汚れ、駐禁看板の乱立



東の街歩道の地下坑道排気口と道路を埋める駐車禁止の看板とコーン。排気口の上部は以前は芝生だったが今はコンクリートで塞がれている。

塀のない学校



打瀬小学校の高学年用昇降口。ベイタウンの小学校はすべて壁やフェンスを設けず歩道や公園と隣接している。地域住民が学校内に入ることも自由だ。

いかがですか？皆さんが日頃この街で暮らして感じていたことや、共感できることはありましたか？「電柱がない」「学校にフェンスがない」など、普段この街で暮らしていると、当たり前、と感じていて、特に「良い」と感じていなかったこともあったのでは？一方で、今後「良い」点を次の世代に残し、「悪い」点を当り前にしないためには、人（行政）任せにせず、住民自身に取り組んでいくべき点も多々あると感じられた方も多いと思います。次号では、そういった取り組みをしている人達の活動や、何を目標しているかなど取材してご報告する予定です。

今僕の学校では…

打瀬中学校生徒会長 井川諒一

No.16



打瀬中学校編

今月の「今僕の学校では…」欄は打瀬中の現生徒会長、井川諒一君に「生徒会の思いで」というテーマで記事を書いてもらいました。打瀬中では生徒会役員の任期は3年生の9月まで。残りの任期があと1ヶ月を切った井川君が生徒会活動で学んだこととは。【編集部】

私が生徒会本部に入ったのは約2年前。1年生の後期が始まって少し経ったことでした。入ろうと思ったきっかけは「学校を変えたい!!」などというたいそうなものではなく、ただ単に「面白そうだし、何事も経験だ!」という、少し身勝手な要素が大半を占めていました(まあそれが逆に良かったのかもしれませんが…)。

ここで少しどうやって生徒会本部役員になるのかを説明しましょう。まず、最初に応援者1名(生徒)と責任者1名(先生)を決めます(決めますというよりか頼みにいきます)。そして受付の紙に全員の名前を記載し、選挙管理委員会に提出します。次にポスター2枚、タスキ1つを作ります。そして作ったタスキを付け、応援者の方と一緒に朝、全校生徒が登校してくるときにあいさつ運動を行います。アピールも行います。結構大事です(ポスターは昇降口に貼るようです)。また、政見放送も行います。そして最後に選挙があります。ここでは応援者→立候補者の順に2分半で公約や自分のアピールポイントなどを説明します。そ

の後投票となり、その日の放課後に選挙管理委員会が集計し、翌日の朝、昇降口に張り出されます(ちなみにこの選挙信任でも決戦でも行います)。

役員になってから何事もなかったのかと言えばそうではありません。とくに私の場合はもう一人の1年生や先輩方に迷惑をかけることも多々ありました。その中の一つを紹介しましょう。

私が本部に入ってからまだそんなに立たない頃、後期第1回目の専門委員会があるのでそこで使う紙の用意、という業務が私に回ってきました。その時私は大きい仕事を任されたという喜びで頭が回らなかったのでしょうか。分からないことに直面しても自分で解決しようと2重、3重に遠回りをして多くの時間をかけ、結局その日のうちに終わらず先生の手を煩わせることになってしまいました。そのあと先生からかけられた言葉は今でも胸に残っています。「失敗から学べ。失敗を生かせ」。その言葉を胸に残りの11か月を無事に(?)過ごすことが出来ました。

そして、その後私はもう一度選挙に出馬し生徒会長となることができました。この立場になって思うこと、それは先代の会長に自分は途方もない迷惑をかけたのだらう、ということです。会長であることの大変さはよく見ていたので知っているつもりでした。そう、「つもり」だったのです。実際になって取り組んでみると正直に驚きました(まあ私の能力が低いのも理由の一つだと思います)。そんな私を支えてくれた副会長や1年メンバーには感謝の言葉しか出てきません(この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとう)。

さて、この文章を通して私が何を言いたいのかということととにかく挑戦は大事だ、ということです。私は小学校の高学年から今まで様々なことに挑戦してきました。無論失敗したこともありました。挫折しかけたことも1度や2度ではありません。それでも今こうやって文章を書いています。それは一つ一つの「挑戦」の中で何かしらの得てきたからだとは私は考えています。確かに迷惑はかけました。ほかのことを犠牲にした時もあります。しかし、その中で得たものは何物にも代えがたいと思います。これを読んでいる皆さん。失敗したっていいじゃないですか。そこから学べばいいのです。ぜひ何か一つでも自分が挑戦できるものを探してみてください。

浴衣の着かたを学ぼう

7月から8月にかけてミラリオの第二和室では「きもの&マナー」講座が開かれていました。主催しているのは幕張ベイタウン伝統文化和装礼法伝承の会の皆さんです。ここでは着物の着付けだけでなく、歩き方や立ち方、礼の仕方などのマナーの指導もしています。その理由について代表の富田さんは「いつもは着ない着物や浴衣を着ることで動きが制限されます。そうすると自然と着物の着ているときの動き方に疑問を持つと思い、指導しようと思いました」と話してくれました。この日の参加者は小1~小5までの13人で、浴衣を着る前は賑やかだったのに対し、浴衣を着た後では姿勢や顔つきも変わり、静かに先生の話の聞いて

ているのが印象的でした。今回友達同士で参加した美浜打瀬小5年の今泉さん、島田さん、山口さんは「お端折りと帯が難しかったけど楽しかった。ペイタウン祭りに着ていきたい!」と感想を述べてくれました。ペイタウン夏祭りが楽しみです。【土井】

ベイバスターズが全国優勝

7月28日~31日に所沢市のメットライフドーム(旧:西武ドーム)で行われた第39回くりくり少年野球選手権大会(毎日新聞社他主催、西武鉄道、TBS他後援)にて、千葉代表として出場した打瀬ベイバスターズ(Aチーム)が、見事に優勝しました!

準々決勝では6-0から終盤に大逆転。決勝では全日本学童軟式野球大会の東京代表チームを5-0で無得点に押さえるなど、連日の激戦を必死になって勝ち抜いてゆきました。

同大会は、東京、埼玉を中心に北海道、宮城、群馬、茨城、千葉、神奈川、山梨、愛知から、約1200チームによる各地区予選を勝ち抜いた強豪40チームが出場する大きな大会です。千葉代表の優勝は昨年の高洲コンドルスに続く2年連続・3回目。また打瀬ベイバスターズとしては3年ぶり3回



生徒会長になった直後の昨年11月に地域と合同で行われた「クリーン作戦」で、自治会連合会の会長他、地域団体の役員の前で挨拶をする井川君。

目の出場で、創部15年にしての同大会初優勝です。



夏休みラジオ体操 6年生リーダーたちの活躍

今年もベイトウン夏休みラジオ体操が3週間にわたって、3つの小学校を順番に会場に行われました。少子化で子どもの数が減り、減少気味といわれるラジオ体操参加者。今年はどうだったのでしょうか。美浜打瀬小では希望者が殺到し、人数調整までしたという6年生子どもリーダーたちは？ ベイトウンニュースラジオ体操記者の松村が報告します。

来るなら来い

7月1日（土）。ベイトウン夏休みラジオ体操練習1日目。この日海浜打瀬小のピロティーに集まったラジオ体操子どもリーダーたちは緊張していました。それもその筈。実はラジオ体操子どもリーダーはこれまで3小学校の6年生に「ぜひ参加してください」と呼びかけて募集していました。しかし今年は子どもたちに、「第1回の練習日までにラジオ体操を全部覚えて来ること」と条件をつけて募集したのです。「来て下さい」から「来るなら来い」への変化です。それに応募して来た6年生達。この日はそれが試される日でした。

募集方針を変えたのにはもちろん理由があります。今年の6年生たちは昨年のラジオ体操のとき、つまり5年生の時から毎日熱心に参加していた子が多く、また美浜打瀬小では彼らが4年生のときに学校でラジオ体操についての社会科の授業を鎌田さんから受けていたのです。このため少し門を狭くしても手を挙げる子ども達はいらだろうと考えての試みでした。

そして集まったリーダーは21人。練習1日目の彼らの動きはラジオ体操会の大人達を驚かせました。「上手い」。これなら今

子どもリーダーと大人サポーター、中高生OBの集合写真。写真左端が鎌田さん。



までで最強のラジオ体操リーダーを育てられる。鎌田さんの目は輝きます。

今年のラジオ体操会は低調？

そして始まった今年のラジオ体操本番。1日目は7月17日の打瀬小からでした。でも前号でお知らせしたように最初の参加者はいつもより低調。300人、400人といつもの年より校庭に集まる人が少なめです。今年はだめかな、と大人達が心配したのもつかの間、3日目になって急に人が増え1,000人をも上回るほどになりました。

もちろんラジオ体操は参加者の多さを競うものではありませんが、それでも数が減ることは街が衰退していくようで気持ちのいいものではありません。毎日1,000人もが集まるラジオ体操は今の日本ではとても珍しい光景です。

それからは順調に1,000人前後の日が続き、7月24日に会場を海浜打瀬小に移してからほぼ同じペースでした。

1,000 人の前で体操

最強と期待される今年のリーダー達ですが、本番第1日目に朝礼台に上がるのは試練でした。何しろ1,000人もの前で体操をするのですから、大人でも緊張します。これを6年生でやるのですから恐らく足がすくむほどだったでしょう。あるリーダーは「初めて朝礼台に上がって体操したときは頭が真っ白になり、間違えてしまった」と。

そんな彼らも順番に登壇し、ひととおり終わって2回目になると自分から手を挙げて朝礼台に上がるようになります。この頃の彼らは自信に満ちた表情で活き活きとした体操を壇上で見せるようになります。

リーダーの日課

ラジオ体操子どもリーダーは体操が上手になるように練習するだけでなく、他にも沢山の仕事をしなければいけません。体操が始まるのは6:30からですが、リーダーは毎日6時前には来て準備をします。倉庫からラジオなどの機材を出してセットし、それから鎌田さんの指導で6:30まで体操の練習をします。

体操が終わると低学年の子どもたちは我先にカードにスタンプをもらおうと集まります。リーダーは全員がスタンプをひとつずつ持っていて、順番にスタンプを押して回ります。新しくカードをもらおうとやって来る就学前の子どもや、先輩の中学生にも照れくさそうな顔をしてスタンプを押し、トイレに行きたいと言って来る子を案内するのもリーダーの仕事です。スタンプ押しと並行してラジオなどの機材を倉庫に片付けます。

やがてみんなが帰って校庭が静かになった頃、鎌田さんを中心に集まって反省会です。もう一度動きを確認し、翌日朝礼台に上がる2人確かめてからやっと解散。これが毎日の日課です。

こうしてリーダー21人の夏休みラジオ体操は終わりました。リーダーの皆さん。大切な6年生の夏休みをラジオ体操のために頑張ってくれてありがとう。この経験を中学生になっても活かしてください。そして来年の夏には一回り大きくなった姿を見せに来てくれると嬉しいな。



3日目には打瀬小校庭に1,000人が集まった。



ラジオ放送が始まる前にラジカセを準備し、終わったら片付けるのもリーダーの仕事。



ラジオ体操が終わると参加者達は一斉にリーダーのもとに掛けよりスタンプ（ハンコ）を押してもらおう。



毎日の行われた鎌田さんによる練習。例年にはなかった細かいところまで今年は指摘されていた。



今年のコアフェスタは大幅にパワーアップします。音楽会やパフォーマンス、展示のほかに屋外のイベントが目白押し。子どもからシニアまで誰もが楽しめる2日間を用意して待っています。新しいコアフェスタにぜひおいでください。

「こどもさいくる リサイクル」が帰ってくる

毎年ベイタウンまつりで開かれていた「こどもさいくる リサイクル」。ベイタウンの子ども用自転車のリサイクルという大事な役目を果たしていましたが、数年前のベイタウンまつりを最後に終了していました。ところがたくさんの人から「またやって」との声が止まず、ついにこのコアフェスタで復活が決定。

自転車の募集など詳しくは10月号のベイタウンニュースでお知らせします。ご期待ください。

コアフェスタでオシャレに変身！！

プロの美容師さんによる編み込み、人気のフェイスペイントもあります。

人気のこども将棋大会

今年は藤井四段の躍進で人気もアップ。今年のコアフェスタ将棋王者は誰。

9月のコア・イベント

わくわくおはなし会 9月のおはなし会

わくわくおはなし会 9月の常設おはなし会は

日時：9月16日 土曜日

時間：午前10:30から

場所：ベイタウン・コア講習室

今月もわくわくするお話を用意しておまちしています。

年齢制限はありません。絵本の好きな大人も子どももぜひきてね！

予約は不要です。読み手も募集中、見学大歓迎

ブログ更新中・見てね <http://blog.livedoor.jp/chibawaku/>

お問合せ先 chibawaku2@freeml.co

9月23日(土) 寺子屋工作ランド

「竹笛」(たけぶえ)

日時：9月23日 第4土曜日 午前9:30～11:30

場所：ベイタウン・コア工芸室

竹(たけ)でよくなる笛(ぶえ)をつくります。小刀(こがたな)をつかう練習(れんしゅう)になります。

持ってくるもの：はさみ、小刀、カッターナイフ(大型)

参加費：50円(保険料)

第164回ファッティオリの会

日時：9月24日(日) 午前9:30～11:30

場所：ベイタウン・コア音楽ホール

フルコンサートピアノ「ファッティオリ」の演奏や他の楽器の演奏、声楽や合唱などに使って頂くことが出来ます。非公開でのご利用を希望のときは、ご相談下さい。定員になり次第締め切らせていただきます。聴きにきて頂くのは、自由です。

最新の情報は <http://www.baytown.ne.jp/core/> をご覧ください。

締切：9月17日(日)

申込先：TEL/FAX：043-377-0020(秋場) akibakrym@yahoo.co.jp

みんなでコアフェスタを盛り上げよう

ボランティアさんを募集しています。

コアフェスタでは人手が足りずに困っています。お手伝いいただければ助かります。

期間：11月4日(土)、5日(日)のいずれかまたは両日

時間：両日とも9:30～16:00(お手伝いできる時間だけでも結構です)

内容：ホールの設営(イス、舞台設営など)、会場案内、場内整理、イベントの受付などのお手伝い

資格：中学生以上、ベイタウン在住の方

お申し込みお問合せは：

打瀬公民館(TEL:296-5100)または松村(TEL:211-6853)へお願いします。メール(mazmbtn@gmail.com 松村)でも結構です。

詳しくは10月号のベイタウンニュースと各番街掲示板のポスターを見てね。

公民館主催講座

親子ふれあい教室 親子で楽しく遊びましょう！

身近な素材を使った遊び道具を工夫して、親子で楽しく遊びませんか？ 親子遊びのアイデアをベテランの先生と一緒に遊びながら紹介します。

また、若いママさんの子育ての悩みの相談もオーケーです。

日時：9月20日(水)、9月27日(木)、10:00～12:00

場所：打瀬公民館 講習室

対象：1歳～2歳児までと保護者

定員：20組(先着)、教材費：200円(2回分)

服装/持ち物：親子で動きやすい服装(保護者/スカートは不可)手ふき、ぬれタオルなど、くつを脱いで活動します。

水分補給(水やお茶)

講師：美嶋先生(UFOキッズ講師/打瀬公民館)

申し込み：9月1日(金)9:00～

直接窓口、または電話で受け付けます。

お問合せは公民館まで 043-296-5100

図書館からのお知らせ

「絵本の音楽会」(美浜図書館打瀬分館)

今年も絵本の音楽会を開催します。楽器の音色を聴きながら、絵本やゲームなどを楽しめます。ぜひ、ご参加ください。

出演予定：絵本作家 きむら ゆういち氏ほか

日時：11月19日(日) 午前10:00～11:40(開場9:30)

場所：打瀬公民館ホール(コアホール)

対象：千葉市在住または在学の4歳児から大人

定員：150名(応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料

※ご参加いただくには、事前申し込みが必要となります。詳細は、幕張ベイタウンニュース10月号に掲載いたします。お楽しみに。

問い合わせ先：〒261-0013 美浜区打瀬2-13 美浜図書館打瀬分館 TEL 272-4646